

～ふるさと伊波野地区の歴史や史跡を学ぼう⑮～



ふるさと伊波野探訪

私たちの“ふるさと”伊波野。

地区内には、古くから伝わるお話や史跡が数々あります。
振り返ってみて、いにしえの人々の暮らしに想いをはせ、これか
らも大事に伝えていきたいですね。

今年度2回シリーズの第2回目は、藤岡大拙先生に伊波野の歴史などについてお話を聴きます。
ぜひお誘いあわせのうえ、ご参加ください。

日にち 令和4年3月1日（火）
時間 9時30分～11時30分（予定）
場所 伊波野コミュニティセンター 集会室
講師 荒神谷博物館長 藤岡 大拙 様
演題 『雲陽誌』（享保2年～1717）に見える伊波野村
参加費 無料

『雲陽誌』とは・・・

享保2年（1717年）松江藩士、黒澤長尚の編になる地誌。
宝永2年（1705年）松江藩3代藩主綱近の命により黒沢長顕（「懐橘談」を記した黒沢石斎の子）と斎藤
豊仙により地誌編纂に着手。
1709年綱近の死により中断。
5代藩主宣維により黒沢長尚（長顕の弟）に再開の命が出され1717年に完成した。
管原弘邦による書写本を島根大学図書館が所蔵し公開している。

準備の都合がありますので、申し込みは2月25日（金）までをお願いします。
当日は、先着30名とさせていただきます。
マスク着用、防寒対策をしてお出かけください。

申込み・問い合わせは伊波野コミュニティセンターをお願いします。

（電話72-1311 FAX72-1322）